

岩倉市男女共同参画基本計画2021-2030進捗状況報告書2024 事前質疑一覧

基本目標1 男女が尊重し合う意識改革を進める 施策の方向性(1) 人権の尊重

質問・意見	進捗状況報告書2ページ 成果指標☆1について、「子供条例を知っている市民の割合」は昨年 47.5(R4)、今年43.2(未記載)の出所は「市民アンケート」ですか。また、「市民アンケート」は、隔年で行われているのですか。 成果指標☆4について、昨年の「93.6は令和5年度の市民意向調査の結果」と昨年の質問の回答をいただいています。今年の「84.7」の出所はどこですか。市民アンケート(R4,R2)なら、市民意向調査の記載は不要です。 また、P7の《現状と目標値》☆1について、昨年の質問の回答として「86.1に訂正」とありました。しかし、今年のは「85.8(R5)」になっています。 データと出所の関係がわかりにくく、目標値に何を基準に設定しているのか、わかりません。次期計画の目標値変更の参考にもなるので、比較可能なデータとなるよう、見やすく、データの整理、出所の確認をお願いします。
回答	【協働安全課】 市民アンケートは、2年に1回行っています。進捗状況報告書2ページの成果指標☆1「子ども条例を知っている市民の割合」は、市民アンケートを根拠としており、令和4年度は47.5、令和6年度は43.2が実績値になります。 進捗状況報告書2ページの成果指標☆4「国際交流や外国人との共生に満足している市民の割合」については、令和5年の市民意向調査にて84.7が実績値でした。昨年度の数値が誤りでした。謹んで訂正いたします。 指標の選定は、総合計画や個別の基本計画から引用しているものが多く、目標値はそれらの計画と同じ数値となっています。計画の見直しの際には、データの出自が分かりやすく見られるよう検討します。

取り組むべき施策① 人権に関する教育・啓発

質問	進捗状況報告書2ページ 人権特設相談を実施することで、市民が気軽に相談できる場を確保することができたとありますが、実際に相談を受けている方はいらっしゃるのでしょうか。
回答	【協働安全課】 令和6年度の市の人権特設相談の相談件数は0件でした。なお、人権擁護委員による人権相談は名古屋法務局や一宮支局でも行われています。

質問・意見	進捗状況報告書3ページ
	人権講演会に、外国人との共生をテーマにした内容を扱うことはできませんか。また、学校で開催されている人権講演会には、保護者も参加可能ですか。
回答	【学校教育課】 人権講演会のテーマについては各学校に委ねているため、ご意見があったことをお伝えします。 また、学校で開催されている人権講演会は保護者参加を可能としています。

質問	進捗状況報告書3ページ
	令和6年度に秘書人事課から福祉課に変更になった「人権相談」などについて、今年度の実績・評価がありません。
回答	【協働安全課】 市民相談室については、人権に関する相談に関わらず、様々な相談について対応しています。市民相談室は、令和6年度に秘書人事課から福祉課へ移管しましたが、人権擁護委員は協働安全課が管轄していることもあり、人権特設相談についての実績は、協働安全課の欄に記載しています。 なお、令和6年度の市の人権特設相談の相談件数は0件でした。

取り組むべき施策② ハラスメント防止の啓発

質問	進捗状況報告書4ページ
	グループ長以上の28名の職員がハラスメント研修を受講したとのことですが、これはグループ長以上の職員の何割、あるいは全職員の何割に当たりますか。 また、市の職員が市民からハラスメントを受けた場合の対応や、その後のケアについての研修などは行っていますか。 (5-(2)-①進捗状況報告書P52においても同様)
回答	【秘書人事課】 受講者の割合について、グループ長以上の職員約3割、全職員の約7%に当たります。 カスタマーハラスメントについては、岩倉市職員ハラスメント防止指針の中で定義や対応について規定しています。その中で、ハラスメントを受けた場合は、「市民からのクレームに対する窓口・電話対応要領」に基づく対応を徹底すること、また、対応ができるように日ごろからシミュレーションすることを記載しています。

質問	進捗状況報告書4ページ
	市内の中小企業・小規模事業従業員を対象にしたハラスメント防止研修の対象事業所が人手不足を理由に参加がゼロであったようですが、事業主が人手不足で従業員を参加させられないから研修機会の提供廃止というのは短絡すぎると思います。研修機会の提供廃止の代替案の施策はあるのですか。 (5-(2)-①進捗状況報告書P52においても同様)
回答	【商工農政課】 廃止を含めて検討するとしたのは、参加者がいないためではなく、秘書人事課の実施する職員向け研修に市内事業者が参加できなくなったことと、有識者と市内の金融機関代表で構成する岩倉市地域産業活性化推進協議会で研修を別途コストをかけて市が実施する必要があるか再検討が必要とされたためです。 市内の中小企業・小規模事業従業員向けの研修を市で実施する必要があるかどうかは岩倉市地域産業活性化推進協議会でご意見を伺いながら検討していきます。

意見	進捗状況報告書4ページ
	事業所から参加できない理由として、従業員を派遣するだけの人員的余裕がないと書かれていますが、オンライン開催や事業所での開催等はできないのでしょうか。廃止ではなく、開催できるようにもっと様々な方法を模索できませんか。
回答	【商工農政課】 上記のとおり事業の継続については岩倉市地域産業活性化推進協議会で検討しますが、現時点で事業所に講師を派遣することは、費用対効果の観点から考えていません。

取り組むべき施策③ 国際理解の促進と多文化共生社会の実現に向けた啓発

質問	進捗状況報告書5ページ
	外国籍市民に対するアンケート等については未実施とのことですが、今後実施予定で検討して下さるという認識でよろしいでしょうか。
回答	【協働安全課】 現段階では未定です。今後なんらかの方法で外国籍市民の声を聴く方法について検討を行いたいと考えています。 なお、今年度は外国籍市民の健康診断の受診率を上げるための取組を新規に行いました。内容としては、通訳対応できる日を2日設定するとともに、問診票の内容を翻訳した資料を配付し外国籍市民が健康診断に参加しやすい環境を整えることができてました。

取り組むべき施策④ 性的少数者への理解促進

質問	進捗状況報告書5ページ
	パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の利用(宣誓)状況はいかがですか。
回答	【協働安全課】 令和7年4月1日から制度を開始し、現在の宣誓件数は1組になります。

意見	進捗状況報告書5ページ
	昨年、これまで「LGBT」と表記されていたものを、「LGBTQ+」の表記にした方が良いのではないかと提案させて頂きました。「LGBTQ」とは提案させて頂いていないのですが、なぜそのような表記に変更になったのでしょうか。今年開催されたセミナーでも、タイトルに「LGBTQ+」と記載されているので、統一して頂くのが良いかと思います。昨今では、こちらの表記が一般的です。
回答	【協働安全課】 男女共同参画基本計画推進委員会からの意見を受けて変更があった内容などの欄について、昨年度の指摘により考慮したつもりでしたが、「+」の記載がないことに特段の意図はございません。 昨年度のご指摘もあり、今年度実施した市民向け講座では「LGBTQ+講座」とさせていただきます。

質問	進捗状況報告書5ページ
	「令和8年度に実施予定の計画の見直しの際には、文言の見直しを検討する。」とありますが、どのように変わるか興味があります。
回答	【協働安全課】 当該施策の内容について、「LGBT」と表記している文言を「LGBTQ+」に変更することを検討しているというものです。

取り組むべき施策⑤ 人権を尊重した表現の推進

質問	進捗状況報告書6ページ 青少年問題協議会専門委員会に参加している各団体においては、情報共有や情報交換はできていますか。(専門委員会―各団体―市民への啓発の段階の中間の各団体での取組に反映されているか等についてのお伺いです。) (3-(2)-②進捗状況報告書P25、3-(3)-③進捗状況報告書P29においても同様)
回答	【生涯学習課】 青少年問題協議会専門委員会の会議では、各団体の活動報告を予め提出していただき、まとめたものを当日の会議資料としています。会議当日は、保育園、小中学校、高等学校、教育支援センター等から、保育園や学校等での子どもたちの様子やそれぞれの課題などについて、情報共有をしています。また、警察からも犯罪の発生状況や実際に警察が関わっている青少年の様子など、具体的な情報が共有できる貴重な機会にもなっています。 さらに当日の情報交換などについても議事録を作成していることにより、各団体においても正確な情報共有ができるようにしています。 各団体での活動にこれらの貴重な情報が共有され、活動に生かされているものと考えます。

施策の方向性(2) 男女共同参画社会に対する理解の促進

取り組むべき施策① 啓発活動の推進

質問	進捗状況報告書7ページ 昨年、令和6年に実施するとして「将来の管理職に向けての税制・財務に関する研修」は実施されましたか。出席した男女比はどの程度でしたか。
回答	【秘書人事課】 検討した結果、主任級までの若手職員や税財政業務未経験者を対象に税財政についての知識を深める研修を実施しました。男女比率は男6:女4でした。

質問	進捗状況報告書7ページ キャリアアップ研修に女性職員2名が受講したとありますが、2名というのは全体の何割程度の女性が参加したということになるのでしょうか。 また、職員講演会は実施には至らなかったにも関わらず、担当課の評価はAとなっておりませんが、職員講演会が実施できなかった代わりになにか別の取り組みをされたのでしょうか。
回答	【秘書人事課】 2名は全体の1%程度です。キャリアアップ研修は(公財)愛知県市町村振興協会研修センターで実施されている研修であり、県内の市町村職員を対象としているものです。県内全体で定員60名程度の研修に2名派遣しました。 職員講演会の代替りの取組としては実施していませんが、愛知県主催の女性活躍推進セミナーへ派遣するなど、研修の受講を促進しています。

取り組むべき施策② 学校教育を通じた男女共同参画社会への理解

質問	進捗状況報告書8ページ 「性の多様性について」の学びや相談環境は整いつつあるようです。エイズ・感染症のみならず、もっと幅広く「包括的性教育」を学ぶ機会を設けていますか。 また、アンコンシャス・バイアスについて、中学生が理解するためにどのような学習機会を設けていますか。 (4-(3)-③進捗状況報告書P40においても同様)
回答	【学校教育課】 小学校では保健の授業、中学校では保健体育の授業において、年齢に応じた性教育を行っています。小学校では「思春期にあらわれる体の中の変化」といったテーマで、大人の体に近づき、初経や精通、心の変化が起こったことを理解する、養護教諭が参加した授業を行い、中学校では助産師を招き妊娠から出産までの流れについて講演していただく「いのちの授業」を行っています。 アンコンシャス・バイアスに限らず、講演会などを通じて、理解を深める機会を設けていきます。

質問・意見	進捗状況報告書8ページ 性の多様性を尊重する教育の一つとして、子供向けのジェンダー教育はなにかされていますか。もしくはされる予定はありますか。 また、ジェンダーについては、親の言動や価値観が子どもに非常に影響を及ぼします。ぜひ、保護者向けにも開催を検討頂きたいです。
回答	【学校教育課】 子供向けのジェンダー教育として、紙芝居などを利用したこども向けの読み聞かせを行っている学校もあります。開催される際には保護者参加を可能としています。

施策の方向性(3) 男女共同参画社会に向けた市民活動への支援 取り組むべき施策① 生涯を通じた学習機会の提供

質問・意見	進捗状況報告書9ページ 男女共同参画に関する講座・イベント参加者数の内訳を教えてください。 また、子育て世代向けの講座や50歳以上を対象としたセミナー、60歳以上を対象としたシニア大学の3つのイベント参加者の合計が119名でしょうか。オンライン開催もできませんか。
回答	【生涯学習課】 令和6年度子育て・親育ち講座の参加者人数は延べ237人、さわやかセミナー(50歳以上を対象としたセミナー)は延べ98人、シニア大学の参加者数は延べ1,321人でした。また、オンライン開催につきましては、年に1～2回開催の特別講座においては、令和4年度よりオンラインライブ配信(Zoom)を会場受講と同時に実施しています。オンライン受講希望者には、事前に通信テストを案内し、初めてZoomに接続される方へのフォローも行い、安全に受講いただいています。しかしながら、オンラインライブ配信は、現状、機材設営・配信運営ともに外部に委託をしており、今後対象講座を増やしていく場合には、施設側で運営できる体制づくりが必要となります。その場合、配信用機材の整備に加え、配信オペレーションの習得、受講者への事前周知、著作権の遵守など運営面の整備も課題です。 一方、特別講座でのオンライン受講の状況は横ばいで、これまでのオンライン受講者は、対面講座にも積極的に参加している人がほとんどであることから、オンライン開催の必要性については、環境整備と市民ニーズとのバランスを見ながら受講料等の費用負担(現在は無料)、資料配布の有無(現在は配布なし)等方針を検討していく必要があると思われます。 【協働安全課】 進捗状況報告書9ページの成果指標☆1「男女共同参画に関する講座・イベント参加者数」119名は、協働安全課が行った男女共同参画講座と一般財団法人あいち男女共同参画財団との共催によるサテライトセミナーの参加者数です。 オンライン開催については、現在環境が整っていないことや、実施には費用も掛かることから、引き続き需要等状況を見ながら検討していきます。

意見	進捗状況報告書9ページ
	実績に「熟年者さわやかセミナー」とありますが、今年度から熟年者を外したその意図は、どのように捉え評価(あるいは無視)していますか。
回答	【生涯学習課】 熟年者さわやかセミナーの対象者は50歳以上となっており、50代の方はまだ熟年者ではなく若い世代ではないかという意見があったため、「熟年者」を外して「さわやかセミナー」に講座名を変更しました。

取り組むべき施策② 地域における市民活動への支援

質問	進捗状況報告書10ページ
	まちづくりネットワークの現状はどうですか。
回答	【協働安全課】 令和6年度のマッチング件数は、13件となりました。 なお、より活用しやすい制度とするため、令和7年4月1日に「お願い登録」の対象を登録団体のみから個人(18歳以上)を加え、「お手伝い登録」の対象を個人(18歳以上)のみから登録団体と法人を加える形に変更しました。

基本目標2 多様なライフスタイルに対応した就業・雇用を 施策の方向性(1) 多様な働き方の普及と就業能力の形成

取り組むべき施策① 雇用対策の充実、就業・生活支援

質問・意見	進捗状況報告書12ページ
	成果指標☆2について、実績値が大きく増加した原因が、継続的支援につながるよう、同じ人が何回も、ということで延べ相談総数が増えています。丁寧に支援をすればするほど、相談件数が上がるでしょう。その増える数を目標にするより、実際に相談した実数だけではいけないのですか。 次期計画も目標値を設定し、「目標」は「増加」ですか「減少」ですか。そうではなくて、「質」の問題ではないですか。
回答	【福祉課】 相談を通じて期待される効果としては、相談をきっかけに相談機関が丁寧に継続的な関りをする事で、問題を共有し、解決に向けて一緒に取り組むことだと考えます。その結果として相談件数の増加につながるがあると思います。このように相談件数の増減は効果測定のひとつの要素として相談件数全体を指標としています。

取り組むべき施策② 人材育成・能力開発の支援

質問・意見	進捗状況報告書13ページ
	創業支援セミナーの参加者は、二市二町で合わせて9名ですか。岩倉市独自のものを開催する予定はありませんか。また、情報をもっと分かりやすく周知して頂けると有難いです。
回答	【商工農政課】 二市二町で合わせて9名の参加でした。参加人数を考えますと今後も広域での実施が望ましいと考えておりますので、独自で開催する予定はありません。また、周知については、広報への掲載、窓口でのパンフレット設置をしておりますが別の方法についても検討していきます。

施策の方向性(2) 男女の均等な雇用機会と待遇の確保

取り組むべき施策② 女性の就労環境改善に向けた普及・啓発・支援

質問	進捗状況報告書15ページ
	働き方改革×ゲートキーパーセミナーに参加する「働く市民」には進捗状況報告書4ページの「ハラスメント研修」の対象になる従業員の参加はありませんでしたか。(このセミナーの「働く市民」と「ハラスメント研修」の対象者は重なりませんか。)
回答	【商工農政課】 働き方改革×ゲートキーパーセミナーの参加申込では、勤務している企業名を確認していないため把握はしていませんが、重複している可能性はあると思います。

質問・意見	進捗状況報告書15ページ
	広報やリーフレット以外の取組としてセミナーを実施したとありますが、参加者はどのくらいいたのでしょうか。今後も継続的に実施予定ですか。 また、再就職応援だけでなく、起業を考えている女性の応援事業も行って頂きたいです。
回答	【商工農政課】 報告書に記載されているとおり23人が参加しています。中小企業・小規模企業活性化行動計画に沿って事業を進めていますので、毎年継続して実施していく予定はありません。 起業を考えている方の応援事業は女性に限りませんが、商工会に委託するビジネスサポートセンター事業で実施しています。

施策の方向性(3) 仕事と家庭が両立できる環境の整備

取り組むべき施策① ワーク・ライフ・バランスの普及や多様な働き方と暮らし方の促進

質問	進捗状況報告書16ページ
	成果指標☆2について、令和7年の目標値が10%のままですが、昨年の回答で、令和6年3月に市の目標値が10%から85%に改定された、とありますが。
回答	【協働安全課】 ご指摘ありがとうございます。進捗状況報告書16ページ成果指標☆2「男性職員の育児休業の取得率」について、令和7年度及び令和12年度の目標値を85.0に訂正いたします。

質問・意見	進捗状況報告書16ページ
	育児取得率が80%と好調ですが、「とるだけの育休」ではなく「質」については、取得者にどのように問われていますか。育休期間が短く、育児の関与度が浅いまままで終わってしまう人もいないのでしょうか。質的向上を目指し、例えば、積水ハウスが育児取得者に「家族ミーティング」というシートを提供し、役割分担などの明確化を試みるなどして、男性育休の「質」を問っています。 また、育休取得者の体験、感想を次期予定者に提供するなどの情報交換などの機会はありますか？
回答	【秘書人事課】 育休取得者の質を問う取り組みは実施しておりませんが、育児休業等の取得に関する説明会を毎年開催し、育休取得者に体験談を語っていただいたり、次期予定者への情報提供の場を設けて情報交換をしています。

質問	進捗状況報告書16ページ
	男性の育児休業取得率が80%と、数値だけをみると大きな変化のように感じますが、取得された80%の皆さんは、どのくらいの期間、育休を取られたのでしょうか。また、取得しなかった20%の方々は、なぜ取得をしなかったのでしょうか。
回答	【秘書人事課】 男性の場合は、1か月未満から1年以上と取得期間は様々です。 取得しなかった理由については把握していません。

取り組むべき施策② 家庭生活・地域活動における男女共同参画の推進

質問・意見	進捗状況報告書17ページ
	これまでも同様の意見を出させて頂きましたが、プレパパと新米パパの教室の開催を行う予定はありませんか。昨年の回答では、他のパパとの交流を求める人は28,2%だったとのことでしたが、プレパパと新米パパの教室は、父親として育児にどう関わるべきか等、様々なことを学ぶ機会でもあるため、交流を求める人たちだけのものではないかと思っておりますので、ぜひ検討頂きたいです。 また、そういった教室が開催されることで、前向きな気持ちで参加する男性が増えれば、求めたわけではなくても自然と交流の場となるのではないかと考えます。プレママと新米ママの教室と、考え方は同じではないかと思うので、男女一緒に子育てをしていくという意識を高めるためにも、パパ向け教室の開催を前向きに検討頂けると嬉しいです。
回答	【健康課】 乳幼児健診、育児教室への父親の参加は年々増加傾向にあり、父親の育児参加への関心が高まっているといえます。 現在パパママセミナーは年4回開催していますが、時期が合わず参加できなかったという声もあり、令和8年度は回数を2回増やし、年6回の開催を計画しています。セミナーの内容も父親としての心構えや育児方法を盛り込んでおり、学ぶ機会を増やすことで家族と一緒に子育てをする意識づけにつなげます。今回いただいたご意見も参考にしながら、男女でともに子育てをする意識づけとなるようパパママセミナーの内容を充実していきます。

質問	進捗状況報告書17ページ
	子育て世代を対象とした講座には、どのくらいの方が参加されましたか。参加者数は例年、だいたい同じような数ですか。
回答	【生涯学習課】 令和6年度の参加者数は延べ237人です。例年同じくらいの方が参加してくださっています。

取り組むべき施策③ 両立を支える支援の充実

質問	進捗状況報告書18ページ
	今後の取り組みに、広報誌「等」とありますが、広報誌以外には具体的にどのような方法を検討されていますか。
回答	【長寿介護課】 市公式ホームページに介護保険制度説明会の資料を掲載し、その中に介護休業制度についての記載があります。介護をしながら就労継続するための制度ですので、介護保険制度説明会資料やホームページの掲載方法を工夫することを検討しています。

質問	進捗状況報告書18ページ
	0歳児と1歳児に待機児童が発生したということですが、何人でどれくらいの期間でしたか。その期間、保護者はどのように対応したのですか。 (4-(1)-②進捗状況報告書P36においても同様)
回答	【こども家庭課】 令和6年4月の待機児童の人数は、0歳児が2人、1歳児が4人でした。 保護者対応では、一時保育を利用したり、祖父母や家族等に協力をお願いしたり、保護者それぞれの勤務時間を調整して、交代で家庭で保育したりされました。待機されている人には、翌月から空きができた園をご案内しますが、すぐに入園される人や、案内されても希望する園が空くまで待つ人もいらっしゃいます。

基本目標3 男女がともに参画する地域社会を形成する
 施策の方向性(1) 施策や方針決定の場への参画の推進
 取り組むべき施策① 審議会などへの女性の参画の拡大

質問	進捗状況報告書20ページ
	成果指標☆1について、表中の実績値は「34.61」、文中の実績は「37.1」になっています。 また、表中の令和7年度の目標値が昨年と異なっています。進捗状況報告書16ページの成果指標☆2は変更していません。
回答	【協働安全課】 進捗状況報告書20ページの成果指標☆1「審議会などの委員への女性登用率」について、誤った数値を記載しておりました。謹んで以下のとおり訂正いたします。 ・目標値 令和7年度 33.0 ・実績値 令和6年度 34.61

質問	進捗状況報告書20ページ
	今後の取り組みに記載のおとり、ぜひ全審議会での女性登用率35%以上を目指して頂きたいと思いますが、これまで何度も意見が出ているにも関わらず、未だに女性がゼロの審議会等があります。 また、1～2人しかいないような審議会等も多くみられます。男女共同参画基本計画推進委員会の女性登用率が非常に高いことから全体の登用率を押し上げているような気もしますが、どの審議会も登用率が低すぎます。 この件については、これまで何年もの間、同様の意見が審議会から出ているかと思いますが、登用率を上げる努力はどの程度されているのでしょうか。具体的に教えて頂きたいです。
回答	【協働安全課】 岩倉市男女共同参画行政推進会議において、委員の任期満了などのタイミングで女性委員の選考に配慮するよう依頼していますが、団体からの推薦による審議会も多く、構成が変わりづらい審議会もあるのが現状です。

取り組むべき施策② 女性の人材育成と能力開発

質問	進捗状況報告書21ページ
	男女共同参画基本計画推進担当課のこの項目の「C」評価がなかなか改善されないのは残念です。計画通りに進まない原因・理由、また、それに対する根本的対策についてお伺いします。
回答	【協働安全課】 女性問題に対する意識の向上や女性のあらゆる分野における活動への促進等に関して活動する女性団体が現在市内にないことから、ネットワーク構築は難しい状況であると考えています。

質問	進捗状況報告書21ページ
	女性に関する団体相互の情報交換やネットワークづくりが十分といえないと書かれていますが、情報交換やネットワークづくりが十分になるよう、どうしていくべきかという具体的なアイデアはあるのでしょうか。課題を解決していくために、実際に女性団体へのヒアリングを直接行う等、なにか取り組みはされていますか。
回答	【協働安全課】 女性問題に対する意識の向上や女性のあらゆる分野における活動への促進等に関して活動する女性団体が現在市内にないことから、ネットワーク構築は難しい状況であると考えています。

施策の方向性(2) 地域社会への参画の促進

取り組むべき施策① 地域コミュニティ活動の充実・支援

質問	進捗状況報告書23ページ
	民生委員・民生児童委員の高齢化、欠員について、長期・短期プランについて伺います。
回答	【福祉課】 近年、民生委員のなり手不足が全国的な問題となっています。当市においても、欠員状況は継続しています。地域の身近な相談相手としての役割を期待されている民生委員の推薦については、地域からの推薦を基本に行政区からの推薦をいただいております。しかし、改選時に短期間で行政区に推薦を求めても困難なことだと考えますので、改選年度だけでなく区長会への理解促進や現職民生委員さんの協力を得ながら、3年後を踏まえた検討を地域と行っていく必要があると考えます。

質問	進捗状況報告書23ページ
	老人クラブの役員の女性比率にずっと変化がありません。今後の取り組みのところで、登用率を上げるように働きかけると毎回記載がありますが、実際に働きかけているのでしょうか。昨年は働きかけができていませんと書かれていましたが、今年は働きかけをしたのでしょうか。また、そもそも老人クラブの役員自体が、5人の女性を含めてほとんど入れ替わりがないのではないかとと思われるのですが、どうでしょうか。
回答	【長寿介護課】 老人クラブ連合会の役員の任期は2年であり、令和8年度から新たな任期で役員の改選がありますので、今後老人クラブへ働きかけを行ってまいります。また、老人クラブへの新たな入会も少なく、会員数も減少傾向にあり、役員の入れ替わりがあまりない状況であります。

取り組むべき施策② 市民活動・市民協働の活性化

質問	進捗状況報告書25ページ
	以前あった「おやじクラブ」という活動はなくなってしまいましたか。
回答	【生涯学習課】 活動回数は減っていますが、現在も活動は続けています。

質問・意見	進捗状況報告書25ページ
	母親クラブにつきまして、昨年のご質問で、母親以外でも入会が可能とお聞きしました。いろいろな方が参加できるよう、また、若い世代へ継承していけるよう、「母親」というネーミングにこだわる必要はないのではないかご意見させて頂いたところ、今後クラブの皆さんと相談されとの回答を頂きましたが、なにか進展はあったのでしょうか。実際に相談をして頂けましたか。
回答	【こども家庭課】 クラブの会員の皆様にもお話しして、特に「母親」にこだわるものではなく、より多くの地域住民の方に参加していただきたいと思っているというご意見をいただいています。クラブの会員の皆さんと、より親しみやすい名称を引き続き考えていきます。

取り組むべき施策③ 地域における国際理解と多文化共生の推進

質問	進捗状況報告書26ページ
	「開講期間が限定されている」のは「いわくらにほんごクラス」だけで、ほかの「日本語教室」はその限りではありません。 進捗状況報告書5ページ1-(1)-③の実績及び評価で「小中学生を対象とした」となっていますが、最近は小中学生のみならず、母国の義務教育を終えながらも日本語ゼロレベルで日本の高校に進学できない既卒生(18歳未満)の日本語習得・学習支援・進路相談も行っています。親の都合で訪日したものの居場所のない子どもも増え、今後はこのような子どもたちへの支援や支援内容の幅が広がっていくと思われます。市はどのように対応、支援していく予定ですか。 また、多文化共生に向けて、外国籍市民の日本語習得に対し、逆に日本人市民が外国籍市民理解のための語学や文化講座など相互理解を深める機会があまりに少ないと思われます。外国籍市民の割合が7.5%を占めているにもかかわらず、市民を巻き込んだ地域における国際相互理解的な事業があまり見受けられません。
回答	【協働安全課】 学習支援についての取組は国際交流協会と連携しながら、市の支援のあり方を研究していく必要があると考えています。 国際交流事業については、引き続き国際交流協会と協力して取り組んでいきたいと考えています。

質問・意見	進捗状況報告書26ページ
	成果指標☆5の国際交流や外国人との共生に満足している市民の割合が、R1では91.1%、R5では93.6%でした。しかし、R6では84.7%と、突然10%近く低下しています。こういった要因があると考えられますか。また、進捗状況報告書22ページの表で、目標値の記載に誤りがあります。92.0%が正かと思います。
回答	【協働安全課】 明確な要因は分かりかねますが、コロナウィルスの感染症法上の位置付けが5類へ移行した後、外国籍の方の岩倉市への転入が増え、外国人比率は現時点で8%を超えています。 また、多国籍化も進んでおり、以前のようにポルトガル語対応だけでは難しくなっています。これまでの取組によりブラジル国籍の方々に日本で住むルールやマナーが少しずつ浸透してきていると感じていますが、新たに入国してきた外国籍の方々には生活に関するルールやマナーの情報が十分に伝わっていないことから、市民の満足度が減少した可能性が考えられます。 また、進捗状況報告書22ページ成果指標☆5「国際交流や外国人との共生に満足している市民の割合」の令和7年目標値はご指摘のとおり92.0でした。謹んで訂正させていただきます。

質問・意見	進捗状況報告書26ページ
	親の都合で来日した場合で、特に中学生以上では日本語がわからないが、授業は進む。この同時進行のギャップを埋めるのには、教える側も学ぶ側もかなりの労力が必要とします。生徒がブラジル・ポルトガル語以外、多国籍化している中で、学校現場はどのように対応していますか。 学習支援で、ある外国籍ルーツの生徒が数学の方程式を解かず(けず=解く方法を理解していない)に、答えを移すのに精一杯という現状をみて「ところてん式」に中学を「卒業」していくのを見送るしかないの难道うかと心配しています。夜間中学設立に奔走される先生とも話しましたが、学びなおしの機会が提供されても、制度のはざままでこぼれてしまう子どもは存在し続けると考えられます。
回答	【学校教育課】 日本語教育が必要な児童生徒のため、ブラジル人講師2人と指導補助を行うフィリピン人講師1人を配置し、語学指導や生活相談を行っています。 また、来日後間もない児童生徒を対象に、学校生活に適應できるよう日本語指導を中心に日本の文化や学校のきまりなどについても指導を行い、短期間で通常の授業に参加できるようにしています。 さらに、使用する児童生徒や保護者の人数が少ない中国語などの言語にも対応できるよう、通訳・翻訳の充実を図り、円滑に学校で学べる環境を整えています。

意見	進捗状況報告書26ページ
	モンゴル派遣について、「子どもたちが現地でホームステイや現地校生徒との交流を通じて、国際感覚を養うことができた」とあるが、果たしてA判定の成果があるのでしょうか。代替行事の検討を深く考える時期ではないのでしょうか。
回答	【学校教育課】 報告集を作成したり、参加者を中心とした報告会を両中学校で実施したりするなど、参加した生徒から直に体験談を伝えてもらうことで、参加していない生徒にもその体験談を学ぶ機会を提供でき、国際感覚を養うことができたと評価しています。

施策の方向性(3) 地域ネットワークによる地域活動環境づくり

取り組むべき施策① 地域リーダーの育成

質問	進捗状況報告書27ページ
	かつて赤十字奉仕団は岩倉市婦人会が担っていたようですが、性別に関わらず入団できると思うので、人材育成の面からも男性が研修参加することもありますか。
回答	【福祉課】 岩倉市婦人会は解散しましたが、婦人会に在籍していた方々を中心として、引き続き岩倉市赤十字奉仕団は活動しています。ご指摘のとおり性別に関わらず入団できるものと考えております。 また、令和7年12月には、赤十字奉仕団主催の幼児安全法支援員養成講習の開催を予定しており、広く市民のみなさんの参加を募っていますので、その中から性別を問わず入団者の確保ができることを期待しています。

質問・意見	進捗状況報告書27ページ
	「幼児安全法指導員」「健康生活支援講習一般指導員」に岩倉市赤十字奉仕団の計4名が参加していますが、その後研修を受けた人はどのような時、どのような場合でその研修成果を生かし、市民に伝えるなどの還元をしていますか。
回答	【福祉課】 令和7年12月開催予定の幼児安全法支援員養成講習では、研修受講者が講師を務める予定になっています。

質問・意見	進捗状況報告書28ページ
	シルバーリハビリ体操指導士会の女性割合はどのくらいですか。 成果と課題の欄に記載の内容は、今後シルバーリハビリ体操指導士会の女性リーダーを育成し、男性の運動と食生活改善のサポーターを育成していきたい、という意味ですか。 記載の文章では測りかねるので、生成AIを活用するなどして分かりやすい文章を書いていただきたいと思います。 また、「活動支援を検討する必要がある」とありますが、「支援をするかしないかを検討する」ことが必要ということですか。人材育成の本気度がわかりません。
回答	【健康課】 シルバーリハビリ体操指導士会の女性が占める割合は8割です。シルバーリハビリ体操指導士会は令和7年度は女性が代表を務め、多くの女性指導士が地域での体操指導を通して健幸づくりを推進しています。 健幸づくりサポーターとして多くの女性が活動していますが、サポーター間で健幸づくり活動への理解、活動状況に差がある状況です。 地域で幅広い層に健幸づくりを進めるために男女問わず健幸づくりサポーターを育成するとともに地域での活動の継続・拡充に向けて引き続き支援していきたいと考えております。

質問	進捗状況報告書28ページ
	健康づくりサポーター、健康づくりサポーター養成講座、健康づくり推進団体などの具体的な活動状況とその効果を教えてください。
回答	【健康課】 健幸づくりサポーター養成講座は令和6年度は1クール(4回コース)開催し、延78人(実人数28人)が参加しました。 健幸づくりサポーターの地域での活動は、運動の推進と食生活改善の推進があります。運動の推進については、令和6年度は講座を年間57回開催し、延1,276人の市民が参加しました。身近な場所で、定期的な運動機会を提供することができました。 食生活改善の推進については、月に1回の学習会を開催し、栄養教室への支援や健康に良いレシピの作成、健康フェアでの情報発信を行うことで、市民に生活習慣病予防につながる食生活についての知識を普及啓発できました。 健幸づくり推進団体は、健康課と協働で健康づくりに取り組む団体で、4団体が登録しており、岩倉市シルバーリハビリ体操指導士会、ポールウォーキング推進隊、水木会ウォーキング、名鉄スイミングスクール岩倉(令和7年度に協働事業を実施)が登録しています。定期的なシルバーリハビリ体操、ウォーキング及びポールウォーキング事業の実施をすることで、参加者の運動習慣の定着と仲間づくりにつながりました。

取り組むべき施策③ 子どもや若者の育成支援のためのネットワークづくり

	進捗状況報告書29ページ
意見	くすのきの家の2階の岩倉市教育支援センター「おおくす」が不登校児たちの居場所となっていますが、2階の一部は市内発掘物の展示資料館にもなっています。日常的には資料館観覧者は少ないので、展示物を移動するなどして子どもたちの遊び場になっています。いっそのこと、二階は全て不登校児たちの居場所にして、資料館は別の場所に引っ越してはいかがでしょうか。「地域交流」という建前はあるでしょうが、両者ともに有効かと思います。現状は文化財の展示室として貧相です。
回答	【学校教育課】 今後、おおくすの利用者が増加していくこと見据え、くすのきの家だけではなく、他の施設などにも居場所確保の検討が必要であると感じています。いただいたご意見については検討いたします。 【生涯学習課】 くすのきの家の展示室については、建設当初に考古資料と山車関係資料の展示室として使用する目的で作られて、現在まで使用しています。「おおくす」としての利用拡大にあわせた展示室の移設については、現在展示している資料の移設・保管場所を確保する必要があることから、今後の課題として検討させていただきます。

	進捗状況報告書30ページ
意見	「シン・児童館」で中高生まで交流するのであれば、彼らに名前についての会議でも開いてもらって「児童館」の名前変更をしてはどうですか。例えば、「U18room」とか。
回答	【こども家庭課】 今後、児童・生徒からどのように意見を募集し、どのように決めるのか等の検討を進めて、愛着を持ってもらえる名称(愛称)を付けられれば良いと考えています。

取り組むべき施策④ 防犯・防災活動や福祉・保健活動への参画の促進

	進捗状況報告書31ページ
質問	機能別団員は平常時の活動ということであるが、団員の居住地は市内全域の地域(行政区)に偏りなどはないのでしょうか。
回答	【消防本部総務課】 12名中、3名が大市場町、2名が西市町となっておりますが、あとの7名は別々の行政区になっています。

基本目標4 多様な家庭の安心な暮らしを形成する

施策の方向性(1) 多様なニーズに対応した子育ての支援

取り組むべき施策① 母子の健康づくりの支援

質問	進捗状況報告書34ページ
	成人式で、女性の健康について等の資料を配布しているとのことですが、資料は女性だけでなく男性にも配布しているのでしょうか。また、健康や親としての役割等、男性にとっても非常に重要なことも多くあるかと思うのですが、男性についての資料は作成・配布していないのでしょうか。もししていないのであれば、する予定はありませんか。
回答	【健康課】 成人式での配布資料は男性も含め参加者全員に配布しています。資料の内容は妊娠・出産に関する情報となっていますが、男性には女性のからだのことを女性には自分自身のからだのことを正しく理解できるような内容となっています。 また、母子健康手帳交付時には男性の妊娠・出産・育児への関わり方について掲載されたパンフレットを配布しています。

取り組むべき施策③ 子どもを守る地域環境の整備

質問	進捗状況報告書36ページ
	Cool downの家はPTAによるため一部の小学校のみであるようですが、異常気象が叫ばれるなか、全市的な取り組みにはなりませんか？
回答	【学校教育課】 市の取組としては、環境政策課が熱中症予防のため一時的に暑さを避ける避難場所として、公共施設や、協力いただいた民間施設を「いわくら涼みどころ」として開放しており、保護者の方にもすぐ一にて配信し周知しました。

施策の方向性(2) 高齢者の暮らしの支援

取り組むべき施策② 高齢者を支える体制の充実と権利擁護

意見	進捗状況報告書38ページ
	「尾張北部権利擁護支援センターとの連携を強化する。」とありますが、どのような場合に、誰が(市役所？民生委員？)利用を促進するのか、いまひとつ分かりません。例をあげて市民に分かるような説明が必要ではないでしょうか。
回答	【長寿介護課】 認知症などの理由で、判断能力が不十分な人は、財産管理などで必要な契約行為などを行うことが難しい場合があります。また、自分に不利益な契約であってもよく判断ができず、悪質商法の被害にあう恐れもあります。 そういった場合、市や地域包括支援センター、ケアマネジャー等の本人を支援する者が尾張北部権利擁護支援センターと連携し、本人やその親族に対し、成年後見制度の利用を促進するものです。

施策の方向性(3) 生涯を通じた男女の健康づくりの支援

取り組むべき施策① 性差を踏まえた健康づくり

質問	進捗状況報告書39ページ 子宮頸がん検診を受診している女性が、少しずつ減っている要因はどんなことだと思いますか。WEB予約もできるようになり、便利になったように思いますが、開催日程や周知方法に問題はないでしょうか。
回答	【健康課】 国の補助金により実施している子宮頸がん検診の無料クーポン事業の対象年齢が20,25,30,35,40歳だった平成21～25年度は、受診率が40%を超えることもありましたが、しかし、対象年齢が20歳のみに縮小された平成26年度に急激に減少し、以降、令和元年度まで26～31%の間を行き来していました。新型コロナウイルスの影響で令和2年度に集団検診を中止したことで、受診率は17.8%まで落ち込み、その後も受診を控える動きがあったためか、数年間伸び悩んでいましたが、令和7年度は28%程度になる見込みです。当計画の指標においては、令和7年度の目標値を30%と定めているため、目標には届きませんでしたが、令和元年度の現状値の状態にまで回復させることができたとも評価しています。 WEB予約については、令和7年度の全予約数の約半分を占めるほどご好評をいただき、一部の検診では、早い段階でWEB予約の枠が満員になってしまう状況がありました。受診率を伸ばしていくためには、ご指摘の通り、開催日程や周知方法を研究し、より多くの人が便利に受診できる環境を作っていく必要があると考えています。

取り組むべき施策③ 性感染症対策や性教育の推進

質問	進捗状況報告書40ページ 小学生向けにも、年齢に応じた性教育をして頂きたいというご意見は、毎年出させて頂いておりますが、なにか進展はあったのでしょうか。学校全体での共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮する必要があると毎回書かれていますが、なにか具体的な取り組みはされましたか。
回答	【学校教育課】 小学校では保健の授業、中学校では保健体育の授業において、年齢に応じた性教育を行っています。小学校では「思春期にあられる体の中の変化」といったテーマで、大人の体に近づき、初経や精通、心の変化が起こったことを理解する、養護教諭が参加した授業を行い、中学校では助産師を招き妊娠から出産までの流れについて講演していただく「いのちの授業」を行っています。

施策の方向性(4) 多様な家庭への支援体制の整備

取り組むべき施策① 障がい者の生活の安定と自立のための支援

意見	進捗状況報告書43ページ ひとり親家庭向けの支援について、もっとプライバシーに配慮し、相談に来る方がもっと相談しやすいようにして頂けると良いのではと思います。直接の来庁でなくとも、書類郵送や電話のやり取りのみで対応できるものは対応をしたり、別室での相談にする等、もう少し配慮があると良いのではと思います。 また、ひとり親家庭が受けることのできる支援や各種給付・貸付制度等について、一覧表にまとめて配布して説明する等し、もっと周知を図っていただけたら良いのではないかと思います。
回答	【こども家庭課】 ひとり親家庭といっても、それぞれのご家庭の状況も多様化していることから、直接での面談でのやり取りが多いですが、書類郵送や電話のやり取りで対応できるものはしています。 また、ひとり親家庭が受けることのできる支援や各種給付・貸付制度等についてまとめてあるQRコードの案内などを行っています。

取り組むべき施策② 障がい者の生活の安定と自立のための支援

質問	進捗状況報告書44ページ 成果指標☆4について、グループホーム利用者がすでに目標値を超えています。今後も「親亡き後」による利用希望者の増加は予想されます。これに対し、どのようなプラン・対応をお持ちですか。 グループホーム設立主体となる福祉法人への支援はどのようになっていますか。
回答	【福祉課】 グループホームについては、現在もニーズが高く事業所が増えている状況です。市内にも、令和6年度末現在で8事業所が開設しています。今後も市内外を問わず増加傾向は続くものと考えています。 グループホームに限らず、施設の開設に関する相談があれば、県の担当部署へ繋ぐなどしています。 また、以前に市内の社会福祉法人が、グループホームを開設した際には、補助金を交付し支援した実績があります。

質問	進捗状況報告書44ページ 維持管理課の方では、毎年実績なしとなっていますが、なにか目標を定めたり、具体的な取り組みはされていないのでしょうか。
回答	【維持管理課】 道路や歩道に関して維持管理課としての実績はありませんが、都市整備課と協働してバリアフリー化を推進していきたいと思っています。 また、公園の遊具に関してインクルーシブ化の研究を進めています。

基本目標5 あらゆる暴力の防止に取り組む

施策の方向性(1) 女性・子ども・高齢者などに対する暴力の根絶

取り組むべき施策② 女性や若年層に対する性暴力やDVの根絶

質問	進捗状況報告書48ページ
	DV相談の男女比についてお伺いします。
回答	【こども家庭課】 令和6年度のDV相談件数50件のうち、男性からの相談は5件でした。

質問	進捗状況報告書49ページ
	人権講演会のテーマが「いのち」中心で、「violence」(デートDV、性暴力など)に関するテーマが見当たりません。中学校では取り扱ってもよいのではないのでしょうか。
回答	【学校教育課】 人権講演会のテーマについては各学校に委ねているため、ご意見があったことをお伝えします。

取り組むべき施策③ 児童虐待の防止・早期発見

質問	進捗状況報告書50ページ
	赤ちゃん訪問事業について、子育てを見守ろうという目的で赤ちゃん訪問事業が始まったが、社会が変わり母親も考え方が以前と違ってきており、現在赤ちゃん訪問事業の方向性も問われています。今後の方向性だけでなく「そもそもこの事業は必要なのか」という所まで民生委員の一部では取り沙汰されています。担当課は、今後この事業をどのように進めていこうと考えていますか。
回答	【こども家庭課】 赤ちゃん訪問事業は、児童福祉法第六条の三に乳児家庭全戸訪問事業として位置付けられており、市町村の区域内における原則として全ての乳児のいる家庭を訪問することにより、内閣府令で定めるところにより、子育てに関する情報の提供並びに乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う事業であり、社会情勢が変わっても、子どもを養育をする家庭と地域の民生委員・児童委員がつながる重要な事業だと考えています。今後も赤ちゃん訪問運営委員会等において民生委員・児童委員に事業の意義を伝えて、事業を進めていきたいと考えています。

質問	進捗状況報告書50ページ
	児童虐待・早期発見の取り組みの成果を具体的に教えて頂きたいです。岩倉市における児童虐待件数は、他の県内の市町村や、県外と比較して、どういった傾向がありますか。また、岩倉市の取り組みによって、虐待の認知件数に変化はありますか。189の利用者はどの程度の割合いますか。
回答	【こども家庭課】 子どもが所属する関係機関や市民等から児童虐待を疑う通告が入った場合は、速やかに子どもの安全を確認し、子どもに関する情報収集を行い、必要な面談や支援を行っています。 周知啓発としては、市ホームページに児童虐待に関する内容を掲載しております。またこども家庭庁が毎年11月に「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を「秋のこどもまんなか月間」の取り組みの1つとして実施しているのに併せて広報周知を行っています。 岩倉市における児童虐待の通告件数は、令和6年度は59件で、令和5年度の29件から増加しています。岩倉市を管轄する愛知県一宮児童相談センターでの虐待通告受付件数も令和5年度の1,052件から、令和6年度は1,256件と増加傾向にあります。愛知県一宮児童相談センターの資料によりますと、管轄の他の市町でも虐待通告受付件数は増加傾向にあります。電話で189にかけた場合、愛知県一宮児童相談センターにつながるため、岩倉市の利用者割合は把握できません。

取り組むべき施策⑤ 多様な被害者への各種相談窓口や適切な支援の充実

質問	進捗状況報告書51ページ
	高齢でない男性がDV被害について相談しやすい環境にはなっていますか。
回答	【こども家庭課】 DVの受付担当者に男性職員がいるため、相談しやすい環境になっており、昨年度は5名の男性から相談がありました。

質問	進捗状況報告書51ページ
	DV等に対する相談の件数が増えていますが、増加要因は为什么呢。これまで認知されていなかった被害者が、岩倉市の取り組みにより相談しやすい体制になったため件数が増えたのか、DV自体が増加傾向にあるのか、どちらなのでしょう。
回答	【こども家庭課】 国や愛知県の相談件数についてはここ数年は大きな増減はない状況です。 岩倉市でのDV等に対する相談件数の増加の要因につきましては、一概に言えませんが、外国籍の方からの相談が増加したことに加え、市や国、県による広報活動により市のDV相談窓口が認知されたこと、生活困窮者相談窓口などの関係機関からの情報提供により相談者とつながるようになったことが考えられます。

質問	進捗状況報告書51ページ
	高齢化に伴う様々な困難課題に対応する専門職の職員不足があるとのことですが、今後ますます高齢化が進んでいく中で、ますます人手が必要になるかと思いますが、どのように対応されることを検討されているのでしょうか。外部委託や、専門職員育成等、なにか具体的な取り組みはされていますか。
回答	【長寿介護課】 愛知県等が開催する虐待対応研修等を受講し専門知識の習得に努めているほか、必要に応じて愛知県社会福祉士会と愛知県弁護士会が設置している虐待対応専門職チームへの派遣要請をする取組を行っています。

施策の方向性(2) あらゆるハラスメント防止の啓発

取り組むべき施策② 教育の場におけるハラスメント防止の啓発

質問	進捗状況報告書53ページ
	教員の盗撮事件が相次ぎ報道されますが、学校内の防犯カメラの設置についてはどのようにお考えですか。
回答	【学校教育課】 学校内の防犯カメラ設置予算の即時確保が困難なため、保護者向けにすぐるにて配信し、盗難防止対策として個人所有のスマートフォン等の撮影の禁止や、更衣室やトイレの点検を定期的の実施するなど学校の取組について周知しました。

質問	進捗状況報告書53ページ
	昨年も同様の意見を出させて顶きましたが、ハラスメントに関しては、先生側にはもちろんのこと、子どもたちにも働きかけが必要かと思います。子どもたちは、どういったことをされたらハラスメントなのか、理解できていない子もいます。また、ハラスメントの被害に遭っても、どのように声を上げればよいのか分からないという子もいます。 大人たちがハラスメントをしないということは、当然であるべきですが、もしハラスメントが起こってしまった場合にどうすれば良いのか、どういったことをされるとハラスメントなのか、子どもたちがしっかり学んでおくことも重要かと思います。前向きに検討をお願いしたいです。
回答	【学校教育課】 「児童生徒の安全確保に向けた学校の取組」として、教職員が児童生徒と個人的な連絡先を交換しないこと、異変に気付いた際は教職員に報告するよう指導しています。 また、悩みや不安を相談できる窓口を整備し教職員以外でも相談できる体制の確認・周知を行っています。

全体に関すること

質問	アンケート結果全体を見たときに、高齢者・障がい者に関する内容については、目標値に近いか目標値以上の結果になっているものが多いように思いますが、若年層や子育て世帯、外国人等のマイノリティに関する内容については、目標値を下回るか更に減少する結果となっている部分が多く見られるように思います。どういったことが要因だと考えられますか。
回答	【協働安全課】 申し訳ありませんが、アンケート等の数値に対する全体的な傾向や要因については分かりかねます。

質問	担当課の評価について、A～Dがありますが、明確な指標があるわけではなく、各担当課での自己評価になりますか。各担当課が出した評価をそのまま掲載しているのでしょうか。たとえば、ある課ではAとなっていて、他の課では似たような達成状況のように思えてもBだったり、課によって評価に差があるように感じます。
回答	【協働安全課】 評価指標としては、以下のとおりです。 A:計画どおり取り組み、目標も達成できた B:計画どおり取り組むことができた C:一部計画どおりにとりくむことができなかった D:全く取り組むことができなかった 担当課の評価は、課としての取組に対する自己評価となります。